

木材ジャーナル名古屋・世ぶ

平成30年12月号 No.139

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

名古屋西部木材港 開港50周年記念祝賀会



名古屋西部木材港開港50周年記念祝賀会（主催：名古屋港木材産業協同組合）が、10月29日に名古屋駅前のキャッスルプラザで、約300名の関係者が参加して開催されました。

会では最初に開港50年の歴史をまとめたスライドが上映されたあと、挨拶に立った嶺木昌行理事長は「（詳細は11月号に掲載）50周年を契機に共存をテーマに再生資源の木材を生かし、新しい希望、新しい責任を追求しよう」と訴えられました。続いて西部木材港の発展に貢献された地元公共団体の弥富市と飛鳥村及び木産協の笠木和雄元理事長、鈴木和雄前理事長、後藤啓一元事務局長に感謝状及び記念品が贈呈されました。

来賓を代表して服部明彦名古屋港管理組合専任副管理者、島田泰助全国木材協同組合連合会副会長が祝辞を述べられました。

服部専任副管理者は、西部に木材港を計画した経緯を振り返って「木材輸入の荷姿が原木丸太から製材品に変わり、コンテナが主流になってきて今日を迎えている」と関係者の努力を称え、島田副会長は、「成長する国産材の振興を図り、国内需要だけでなく輸出にも目を向け変化を乗り越えよう」と呼びかけられました。来賓としては、野田



感謝状を受け取る
笠木元理事長、鈴木前理事長、後藤元事務局長

俊昌愛知県農林水産部技監、渡辺秀樹弥富市総務部長にもご列席いただきました。

飛鳥村久野時男村長による乾杯の音頭で宴会となり、あちらこちらで歓談の輪ができていました。

最後に、笠木元理事長の中締め挨拶と手拍子で閉会となりました。木産協は、50周年を記念してこの間の歴史、活動、統計資料、座談会、写真史をまとめた記念誌を発行し、参加者の皆さんにお配りしました。

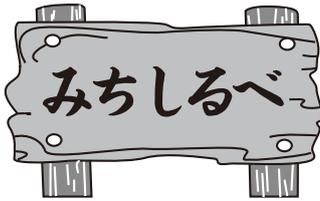


祝辞をのべられる
服部明彦名古屋港管理組合専任副管理者



祝辞を述べられる島田泰助全木協連副会長

“いま、木に本気” ぐらしに活かそう木の良さを



2020年以降の大変革期に向けての準備を!! 2019年10月 消費税10%増税後の景気下支え策

名古屋木材組合

組合長 西 垣 洋 一

日本経済は、緩やかながら景気は拡大しているものの、「通商摩擦」「消費増税」「五輪需要の反動」「金融出口政策」の4つの景気拡大を阻む壁が控えている状況です。こうした中、安倍首相は、全世代型の社会保障制度への転換と財政再建に向け、消費税率を2019年10月1日に現行の8%から10%へ引き上げるとの方針を表明しました。

この方針を受け、底堅く推移している住宅需要は、11月に入りようやく活況の兆しが出て来ており、来年のスタートは、次の増税がない限り、最後の受注の盛り上がりとなるかと思われま

す。只、2014年4月に消費税率を5%から8%へ引き上げた際には、駆け込み需要の反動減もあり、耐久消費財を中心に消費が大きく落ち込み、景気が低迷、新設住宅着工数も10.8%の減少と大きな打撃を受けました。現在政府が検討している消費増税時の景気の下支え策は、消費増税前の駆け込みと反動減をどう抑えるかに力点が置かれ、予算規模は2兆円を上回ると言われています。木材住宅業界においても、この下記の如く①～④などの対策が練られています。

- ① 新築・改築住宅にポイント（省エネと耐震へのポイント）← 住宅エコポイント制度
15年に実施した「住宅エコポイント制度」の仕組みを参考に耐震性の高い住宅も対象に加え、対象となる住宅や改築の条件、予算規模、又ポイントの交換先の見直し。
- ② すまい給付金の拡充と贈与税非課税枠の拡大
10%への増税後、年収775万円以下の人を対象に最大50万円の支給を拡充、増額や条件緩和などの案を検討
- ③ 住宅ローン減税の拡充・延長
住宅ローン残高に応じて所得税を減らす住宅ローン減税も拡充、3年延長をし、住宅エコポイントの付与との組み合わせにより幅広い住宅購入層への支援策へ
- ④ その他の増税後の生活費負担抑制支援策等
プレミアム付き商品券、キャッシュレス決済時のポイント還元、車保有の税軽減、個人番号カードへのプレミアムポイント、軽減税率の導入、消費税収の還元による幼児教育の無償化、年金生活者支援などの生活費負担の抑制対策や、他に防災・減災、国土強靱化対策、商店街の活性化策、増税時の柔軟な値上げを促す指針の策定など。

只、今回の消費増税も1つの試金石であります。2020年以降の大変革期を迎える中で、我々の木材業界においては、循環型・低炭素社会の実現に向け、非住宅木造建築物等の木造化・木質化を推進、省エネ住宅関連の新商品の取り組みなど環境変化に適応した「新たな需要を創造し実践」することが大切となります。

人生の師と仰ぐ安岡正篤先生は、傳家寶（でんかほう 代々家に伝えるべき宝の言葉）の中で「事の前に在りては怠惰、事に当たっては粗忽、事の後に於いては安逸、是れ百事ならざる所以なり」と言い、又「用意周到なれば機に望んで惑うことなし」「信心積善すれば変に遭うて恐ることなし」と、事に当たる心構え、節度ある行動を説かれています。松下幸之助翁は、「事の前には準備の徹底」「事に当たっては真剣勝負」「事の後は反省」を旨として実践されました。私たちも今、この言葉を胸に留める必要があります。組合としましてもこの戒めを胸に、2020年以降の大変革期に向け、木材利用促進への取り組みの強化を図って参りたいと思います。

◆ 合縁木縁 ◆

「同窓会」

母校では毎年8月に同窓会が開催され卒業生が年齢に関係なく一堂に会する。今年も例年並みの767名の参加となった。今回は我々の世代が毎年持ち回りとなっている幹事学年になるため、地元在住者を中心に一年前から準備に取りかかり毎月打ち合わせを行い当日に備える。遠方からの同級生は当日のみの参加となるが開始数時間前には集合して会の進行等のリハーサルを行う。同級生だけで120余名。高校を卒業して三十有余年、ほとんどが卒業以来の顔合わせとなる面々は、全然変わっていない者からまったく面影のない者まで見事に様々である。恐る恐る名前と顔を確認しながら時の経過を改めて実感しつつも、リハーサルを終えるとすぐ当時に戻ったように息つく暇もなくあちらこちらで近況報告などの会話が始まる。

定刻通りに始まったパーティは、物故者への黙とうからスタートし、同級生のアナウンサーやテレビで活躍するコメンテーターが流れるような司会進行を行い、これまた同級生の日本舞踊や能、ピアノ演奏で会を盛り上げる。最年長の先輩へのインタビューや応援団OBによる演舞、最後に校歌の大合唱となり、ようやくお開きとなる。無事終了となり卒業生を見送ってから幹事学年のみによる宴へと続く。楽しく愉快な話もあれば辛い話が聞こえてきたりする。色々な刺激を受け、励みになる。

今回の同窓会は「向日葵のように輝いて～永遠の18歳」というテーマが掲げられ、夢や希望にあふれていた当時の気概を想いまた明日から気分を一新して日々頑張っていこうという意味が込められている(と解釈しています)。今ではまったくご無沙汰となっている運動も、学生時代は部活動に熱中して動きまくっていた頃を今一度思い出し、とりあえずは毎日の散歩から始めて少しずつ走ってみようと思う。

人生いろいろ、今からまた夢や希望を持ってやろうかと考える今日この頃です。

今回は、丸徳木材(株) 代表取締役 水本 昌和氏 にお願ひします。

名古屋：日本製紙木材(株) 中日本支店名古屋営業所
所長 脇田丈士

◆ 自遊ご異見番 ◆

「～気付き～」

今年の甲子園を沸かせたスターである大阪桐蔭高校の根尾昂選手が、4球団競合の末、地元中日ドラゴンズにドラフト1位で指名され、入団が決定しました。成績が低迷している地元中日ドラゴンズとしては明るい話題です。

そんな明るい話題とは逆に「戦力外通告」「トライアウト」といった記事も目にしました。私の住まいの同じ町内に、数年前広島カープに育成ドラフト1位で指名されたものの、一度も1軍登板のないまま今年、戦力外通告を受けトライアウトに参加した選手がいます。やはりプロの世界は厳しい世界です。近所のおじさんとしては、地元の中日あたりが拾ってくれないかと願っております。

先日、TBSの『消えた天才』というTV番組で紹介された元プロ野球選手の中にも、ドラフトで数球団競合の末ドラフト1位で指名されたものの、1軍で全く登板機会のないまま数年で戦力外通告を受け、プロ野球界を去った選手が紹介されていました。

取材した記者から「なぜ、プロの世界でダメだったのか?」との質問に対し、その元プロ野球選手は「色々なコーチのアドバイスを聞いて、その指導を聞いているうちに自分の投げ方が分からなくなった。」という答えでした。確かに高校時代は甲子園を沸かせた投手でしたが、戦力外通告を受けた年のブルペンの映像を見ると、投げたボールが壁に当たったり、捕手も全く取れない暴投であったり酷いものでした。

以前、元中日ドラゴンズ監督の落合博満氏が出版された書籍を読んでいたときに、新人で期待されて入団したものの、90%の選手はこの指導でダメになるとのことでした。ちなみに落合氏は新人の頃、当時のロッテの山内一弘監督の指導を受けたが「俺のことはほっておいてください」と言ったそうです。さすが落合氏です。その後、落合氏は自分自身で考え打撃フォームを作ったとのことですが、その打撃には振り返れば山内監督のアドバイスが生きていたとのことでした。自ら考え、自らの「気付き」により自分のスタイルを作られたそうです。

コーチは細かな欠点を直すのではなく、その人の長所を伸ばすアドバイスをすることが仕事であり、また選手は自分自身で考え、自ら「気付き」、逆にコーチからアドバイスをもらう関係が重要であるとのこと。「欠点を直すこと。それは良い部分が失われることでもある。」という記述がありましたが、会社や組織で働く者にとっても参考になる話ではないかと思ひます。

根尾君は大変頭の良い選手であり、自分自身で考え、自ら「気付き」ことができる選手と思ひますので、数年後、いや早ければ来年活躍することを期待しています。

名古屋 広報委員：高橋孝治 (材惣DMBホールディングス(株))

飛島学園3年生校外学習が行われました

毎年恒例の飛島学園3年生42名の校外学習が11月30日に行われました。「飛島村南部に巨大な木材港があり、木材の輸入から加工、製品の発送までを村内で行っていることを知り、ふるさと飛島への関心を高める」目的で今年8回目となりました。

名港運輸～貯木場（フジトランス）～稲生製材～東海プレカットのコースで実際の作業や加工現場を見学しました。いろいろな木材の標本や丸太を運ぶリフト作業、大きな丸太の水揚げやチェーンソーによる玉切り、製材機による縦割り、複雑な加工がオートメーションで出てくるプレカット加工機に興味津々でした。機械の音が大きいなか、説明者に質問し必死になってメモを取っていました。

この見学を通し、木材に興味を持ってくれる児童が一人でも多くなればと思うばかりです。



嶺木理事長に飛島村から感謝状

嶺木昌行名古屋港木材産業協同組合理事長は、平成30年11月16日に飛島村久野時男村長より永年に亘って名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会の会長として「地方自治の進展に寄与された」として飛島村の表彰条例に基づき、役場において賞状の贈呈式がありました。



◆ 広告コーナー

新型 **GENEO** 誕生!

Clean Tech Diesel

トヨタL&F中部株式会社

本社 TEL:052-882-6411
 名港(営) TEL:0567-55-0722
 小牧(営) TEL:0568-77-5365
 高山(営) TEL:0577-33-4020

私たちのプレカットテクノロジーは、
 人と住宅の未来のために
 磨かれています。

Precut & Technology
MIYAGAWA®

宮川工機株式会社

本社 〒441-8019 愛知県豊橋市花田町字中ノ坪53

TEL.(0532)31-1251(代) FAX.(0532)34-1956

東京営業所(本事業所はISO9001:2000認証取得の組織ではありません)

〒135-0016 東京都江東区東陽5丁目15の6

TEL.(03)3647-2140(代) FAX.(03)3647-2184

●資料ご希望の方は、宮川工機(株)営業部まで



発行 名古屋木材組合

発行者 西垣洋一

〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10

TEL <052> 331-9386

FAX <052> 322-3376

【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合

発行者 嶺木昌行

〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74

TEL <0567> 57-2017

FAX <0567> 57-2018

【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会